

瑞浪 青年塾だより

新 第 5 号
 平成 22 年
 11 月 26 日 発行
 中 日 本 生 涯 学 習 セ ン タ ー

平成二十二年度、第五回瑞浪青年塾が中日本生涯学習センターで十一月十三日～十四日の一泊二日、二十三名（スポット参加含む）で開催されました。今回のテーマは「皇室と日本人」でした。講義を麗澤瑞浪浪中学・高等学校教諭、高瀬仁志様に、体験発表は、四日市西モラロギー事務所の川崎匡剛様にご担当頂きました。私たちの住んでいる日本という国の象徴である皇室・天皇陛下について、貴重な体験発表と講義をして頂きました。

今回のテーマ「皇室と日本人」



〈講義を担当された高瀬先生〉



〈体験発表の川崎さん〉



〈振り返りの話し合いの様子です。〉



朝の清掃奉仕の後の朝食の様子です。



〈懇親会で皆さんと楽しい一時を過ごしました〉

青年塾参加レポート



中日本センター 足立 洋平
 私が今回の青年塾で、印象に残った事・勉強になった事は、大きく分けて二つあります。

まず一つ目は、参加者の方と最初の懇談している時に「天皇陛下という地位が、今後必要かどうか分からない」という方がおられました。それは「おかしい」と思ったと同時に、天皇陛下という地位が必要だと言える明確な理由が思い浮かばなかった事を覚えています。しかし今回の瑞浪青年塾で、天皇陛下にしか出来ないお仕事や歴代の天皇の特徴などを少しは理解する事が出来ました。

二つ目は、高瀬先生の講義の中で、天皇陛下の仕事として、「一、神様に對し、国民のための祈りを捧げる事」「二、戦争で亡くなった人々に慰霊の

今回のメニュー

- 1、天ぷら
- 2、じゃこご飯
- 3、生野菜サラダ
- 4、おつまみ・お菓子など

念を捧げる事」「三、地震などで被害が出た所へお見舞いに行く」などがあると教えて頂き、天皇陛下のお仕事について、明確に知る事ができ、本当に良かったと思いました。その他にも、「女性天皇はほとんどの代が一代で終わっている」という事や「女性天皇は父方の祖先をたどると必ず歴代の天皇がいる」など、今まで全く知らなかった事を教えて頂き勉強する事が出来ました。

最後に、今回お二人の講義を聴講し、今まで全く興味を示さなかった事に、関心を持たれたような気がしました。これからは、勉強会などがあれば、できるだけ参加したいですし、少しずつでも自分で調べ、知識を身に付けていきたいです。

参加者のご感想 河村 功
 久しぶりに青年塾に参加させて頂き新しい仲間とも交流ができて、楽しく過ごす事ができました。また、高瀬講師の「皇室」のお話は、日本人にとって重要で難しいお話を、面白くそして、分かりやすく聞きたいです。是非次回も参加したいです。

次回のご案内

次回の瑞浪青年塾はテーマ「いのちのつながり」です。期間は十二月四・五日。

今回は、「気付きのワークリスト作成」をして、その後、伊賀モラロギー事務所、森下聖司様に講義をして頂きます。また、毎年恒例のクリスマススプレゼント交換会を予定しています。一人千円程度のプレゼントをご持参ください。ビンゴゲームによる争奪戦を行います。センタースタッフ一同皆様を心よりお待ちしております。お誘いあわせの上、ご参加下さい。

編集後記

平成二十二年度に入り、早くも五回目の瑞浪青年塾が終わりました。まず、今回の瑞浪青年塾は、予想以上に多くの方にご参加頂きました。今回、私が感じた事は、スポット参加の方が多かったにも関わらず、高瀬講師の内容のある講義で、参加者の皆さんが、本当に熱心に講義を聴講され、充実感に満ちた青年塾になったのではないかと思います。

中日本生涯学習センター
 〒466-0661 愛知県瑞浪市
 瑞浪青年塾事務局
 TEL 0577-226661
 FAX 0577-226663
 E-MAIL mizunami@nology.jp
 こちらに出欠の返事をください